

令和8年度第2回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和8年6月16日（火）15:30～16:25 評議会議室

出席者：井手理事長、福永副理事長、森下理事、松岡理事、中嶋理事、北村理事、杉江理事、高橋理事、山本監事、元永監事

事務局：中井事務局次長、吉田総務課長、饗庭財務課長、寺村経営企画課長、堀口学生・就職支援課長、川崎教務課長、小椋地域連携・研究支援課長、越後高専開設準備局長、堀江高専開設準備局次長、南高専開設準備局学務課長、畑野主任主事

令和8年度第1回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案のとおり承認された。

議題

（審議事項）

- 1 第4期中期計画の進捗管理・令和7年度計画進捗状況等について
寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。
- 2 令和7年度事業報告について
寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、一部修正のうえ承認された。
- 3 令和7年度決算・財務諸表（案）について
饗庭財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・授業料減免制度について、経費の増加に伴い、県からの補助金も増加しているという理解でよいのか。
→そのとおりである。昨年度から多子世帯への減免が拡充されたことに伴い、財務諸表上の教育経費が増加している。

4 学部・学科再編の方針について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・新しく再編する学部・学科については、教育研究内容も時代の変化に合わせて見直していく必要があるが、在籍する教員の研究分野との整合性は図られているのか。
→再編後の学部に対応する単位で部会を設置し、現在、3つのポリシーの策定やカリキュラムの具体化を進めているところである。今後、新しい時代に対応した教育内容について検討を進めていく。
- ・外部との連携強化が必要であり、様々な企業等との関係構築を進められるよう、魅力的な内容を提示してほしい。
→大学には、リスキリングをはじめとする企業との連携がこれまで以上に求められている。特に再編後の工学系学部においては、彦根の地場産業であるバルブに特化した研究開発センターの設立構想もあり、地域との連携強化について積極的に検討していく。

- ・今後のスケジュールはどう考えているか。
→本年度中に文部科学省への申請準備を完了させる必要がある。3つのポリシーやカリキュラム内容を策定・精査したうえで、文部科学省と協議し、本申請へ進む予定である。

(報告事項)

1 令和7年度卒業・修了者の進路状況等について

堀口学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・県内関係企業等への就職率が高く、看護学部では、県立病院が運用するドクターカーで活躍する卒業生もいるなど、地域に人材を輩出している点は評価できる。他大学にはない県立大学の強みを積極的に発信してほしい。